

# 区政のここをきく

9月11日、12日の本会議にて、一般質問が行われました

## 一般質問要旨

※ 二次元コードから一般質問の動画が視聴できます



### 区の将来像／児童虐待防止と子どもの健全育成について

並木 一元  
(自民党)



#### 区の将来像について

**問** 物価高騰や不安定な国際情勢等による区財政への影響が懸念されており、歳出削減を一層進める必要がある。学校や庁舎の建て替え計画に基づき基金の計画的な積み立て等、中長期的な視点を持って財政運営を行うべきと考えるが、見解を問う。

**答** 建設費等の大幅な増加が想定される中、これまで以上に中長期的な視点に立った財政運営が必要と認識している。より一層の歳出削減や特別区民税の収納率向上に努め、新たな財源確保にも取り組み、持続可能で健全な財政運営を推進していく。

**問** 新たな基本構想の策定にあたっては、区民の声を十分に生かし、災害への備えや施設の改修、男女共同参画対策の推進、労働者人口の減少、外国人の受け入れなど、重要課題の解決への道筋をつけるものにすべきと考えるが、区の見解を問う。

**答** アンケートやワークショップ等、あらゆる方法で区民からご意見を伺っている。引き続き対話を大切にし、顔の見える関係づくりを進めるとともに、区民等の貴重なご意見を可能な限り反映し、新たな基本構想の策定に鋭意取り組んでいく。



▲基本構想の策定

**問** DXの推進については、デジタル技術に不慣れな方を取りこぼさず慎重に取り組み、人材育成を推進し、新たな技術の活用により効率的な区政運営を推進すべきと考えるが、見解を問う。

**答** 手続きのオンライン化や「書かない窓口」、地域のデジタル化の取り組みを進めていく。生成AI

等の活用も積極的に進めており、職員の研修派遣や専門人材の配置等、全庁一丸となって取り組む。

#### 児童虐待防止と子どもの健全育成について

**問** 児童相談所の開設から5年が経過した。子どもの安全を担保していくために、職員一人ひとりの更なる知識・技能の向上が必要である。将来を見据えた専門人材の育成について、見解を問う。

**答** 専門研修やOJT等の取り組みを通じて、実践的な知識と技術の習得を促している。更に、都と児童相談所設置区が締結した協定書に基づき、人材育成の拡充についても検討を進めている。



子ども家庭総合センター  
(児童相談所)

**問** 学校におけるヤングケアラーに対する支援について、令和7年1月に実施した実態調査の結果を踏まえ、取り組みの検証を行い、全庁的な支援を行うべきと考えるが、区の見解を問う。

**答** 調査結果を受け、職層に応じた研修の実施や安心して相談できる体制の整備、個別面談の実施や適切な支援機関へつなぐ環境の整備、放課後の個別指導体制の確立など、対応を強化している。

**問** 区が誘致し、開設3年目の児童養護施設について、今後も地域密着の施設としての使命を果たしつつ、地域の子育て支援に資する取り組み等を強化していく必要があると考えるが、見解を問う。

**答** 児童養護施設「クリスマス・フォレスト」では、施設本来の機能に加え、ショートステイ事業や里親支援事業を実施している。引き続き連携を深め、地域の子育て環境づくりに取り組んでいく。

#### その他の質問項目

○商業振興について

○スポーツを基にした健康づくりについて



## シティプロモーション推進／ A I・データ活用等について

花澤 昭信

(ゆいの会 (都民ファースト・  
国民民主・あたらしい党・無所属))



### シティプロモーション推進について

**問** 現代の地域課題に対し、シティプロモーションをどのような観点から必要と捉えているのか。

**答** シビックプライドの醸成や関係人口の増加が区の発展につながると考え、施策を進めている。

**問** シティプロモーションの目的やターゲット等の戦略的な方向性について、区の見解を問う。

**答** 令和8年度に向けて基本方針を策定する方向で検討しており、区全体で戦略的に取り組んでいく。

**問** P D C Aの可視化や第三者評価の導入を含め、成果評価の仕組みづくりを検討すべきと考える。

**答** 新たな指標により区民満足度等を客観的に測定するとともに、効果的な検証方法を研究していく。

### 行政サービスの改善における「A I・データ活用」と“ブロードリスニング”の仕組み化について

**問** 住民の声やアンケート結果を収集・分析した政策反映の仕組みや課題、A I等を活用した自由意見の分析・可視化の導入について、見解を問う。

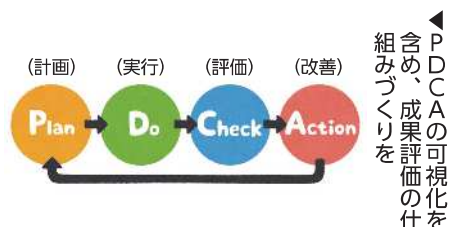
**答** 基本構想策定のためのアンケートでは結果を可視化するため、ワードクラウドという手法を活用する予定であり、今後も調査研究を進めていく。

**問** 無作為抽出等を活用した対話の仕組みや、ブロードリスニングの体制整備について、見解を問う。

**答** 他自治体の事例等を調査研究し、区民の声を区政に反映する仕組みづくりに取り組んでいく。

### その他の質問項目

#### ○キャッシュレス決済の導入促進について



## 若者支援／南千住浄水場跡地 (天王公園) について

増田 峰子  
(公明党)



### 若者支援について

**問** 高校生以上の若者を対象に、就労、生活等を一貫して支援できる(仮称)若者支援課を設置すべきと考えるが、区の見解を問う。

**答** 若者の悩みや不安等をしっかりと受け止め、より包括的に支援できるよう、窓口のあり方や組織も含めて検討を進めていく。

**問** 他自治体の事例を参考に、全小中学校において、年齢に応じた段階的な性教育を柱とした人権教育を積極的に推進すべきと考えるが、見解を問う。

**答** 他自治体を参考に調査研究を行い、子ども達の心身の機能の発達と心の健康等の健全育成を図り、性教育を柱とした人権教育を推進していく。

### 南千住浄水場跡地(天王公園) について

**問** 南千住浄水場跡地の整備において、子ども達が安全に伸び伸びと遊べる親水エリアの設置を求める。また、子ども達の健やかな成長を支えるため、季節や天候に左右されず安心して遊べる屋内遊び場を設置すべきと考えるが、区の見解を問う。

**答** 現在の水遊び施設は整備後30年以上が経過していることから、公園整備にあたり新たな水遊び施設を整備する方針である。屋内遊び場施設についても検討の必要性は認識しており、今後、コスト等の課題を含め総合的に調査研究し、魅力あふれる公園となるよう取り組んでいく。

### その他の質問項目

#### ○公営火葬場について



◀ 南千住浄水場跡地



## 障害のある子どものいる世帯への支援等について

相馬 ゆうこ  
(共産党)



### 障害のある子どものいる世帯への支援について

**問** 障害のある子どものいる世帯の実態を把握し、支援の実施と母親の就労を保障する施策が求められているが、その現状について区の認識を問う。

**答** 障害児の保護者の就労は、就労時間や就労の継続等についての課題がある。経済的不安や孤立を解消するための環境整備を推進していく。

**問** 国と都に対し、障害児支援の所得制限の撤廃を求めるとともに、区の支援においても制限を撤廃することを求めるが、区の見解を問う。

**答** 主な障害児向けサービスに所得制限は無いが、障害児福祉手当等に所得要件を設定し、予算を効果的に分配することで支援の均衡を図っている。

### 障害のある子どもの放課後の居場所確保について

**問** 区立の放課後等デイサービスを設置すること。また、区として放課後等デイサービスのあり方を示し、重症心身障害児も受け入れるよう、質と量の確保を図るべきと考えるが、見解を問う。

**答** 重度障害のある子どもの受け入れ可能な施設が不足していることは認識しており、受け入れ数の増加に向け、必要な施策について検討している。

**問** 特別支援学校の校内に、学童クラブ等、放課後の居場所を設置するよう都に要望すること。

**答** 都の責任において検討すべきものと考えながら、今後も必要に応じて現場の状況を伝えていく。

### その他の質問項目

○差別に苦しむ人をつくらない



特別支援学校内への放課後の居場所設置を都に要望すること



## ICT教育について／多文化共生社会に向けて

久家 しげる  
(立憲民主党)



### ICT教育について

**問** ICT教育の取り組みの成果を問う。また、タブレット等の使用による識字能力の低下、持ち帰る際の負担等の課題について、区の見解を問う。

**答** ICT環境の向上は個に応じた指導や主体的な学びにつながっており、書く力や思考力の育成、個々の発達段階に応じた配慮も大切にしている。

**問** 今回のタブレット端末更新を機にこれまでの経験や実績を活かし、より先進的で特徴的なICT教育の実践を期待する。更に、A Iドリル等の教育ツールの活用を提案するが、区の見解を問う。

**答** ハイスペックのクロームブックを導入するとともに、利便性の向上やセキュリティ面の確保等、整備を進めてきた。A Iドリルについては、他自

治体の事例等を調査し、導入に向け検討していく。

### 多文化共生社会に向けて

**問** 多文化共生社会に向けた取り組みや外国籍の区民等によるトラブルの発生状況を問う。諸々の問題を乗り越え、多文化共生社会の実現に向けて歩を進めていくべきと考えるが、区の見解を問う。

**答** 大きなトラブルの報告は無いものの、区報やパネル展等における周知・啓発のほか、様々な事業を実施しており、今後取り組みを進めていく。

**問** 他自治体の事例を参考に、区として多文化共生社会の実現に向けた意思表示をすべきと考える。

**答** 人権が尊重されるまちづくりの方向性を示す荒川区人権推進指針の改定を進めている。



より先進的で特徴的なICT教育の実践を期待



## 子育て支援に「あそび」の学びを ／部活動の地域移行について

山田 晴美  
(維新・子育ての会)



### 子育て支援に「あそび」の学びを

**問** 自主性や臨機応変力、社会性等の非認知機能は子ども同士が遊ぶ中で育まれ、基礎体力・身体機能の向上には外遊びが効果的という研究結果も立証されている。子どもの遊びについて大人が真剣に考え、子育て支援の観点から、保護者にもこの学びの機会を提供するよう要望する。

**答** 東京すくわくプログラムや区立保育園で実施している地域支援事業等は、保育士や保護者が遊びについての学びを認識する内容となっている。引き続き保育環境の充実を図り、遊ぶことの大切さについての認識を深める機会を保育士だけでなく保護者にも提供できるよう努めていく。

### 部活動の地域移行について

**問** 他自治体において、学校の施設管理を担う指定管理者が校内に本拠地を設置し、校庭や体育館を使って総合型地域スポーツクラブを運営している事例がある。区にもこのような受け皿を整備することで、部活動の問題解決だけでなく、地域での子育てを体現できると考えるが、見解を問う。

**答** 令和7年度から第三中学校において部活動の地域連携モデル事業を開始し、部活動への意欲向上や教員の負担軽減等が図られており、有意義な事業となっている。本事業の効果検証や他自治体の事例を参考にしながら、環境整備に努めていく。

### その他の質問項目

#### ○子どもの遊び場について



子どもの遊びを真剣に考え、保護者にも学びの機会を提供を

## 傍聴してみよう！



傍聴のご案内

- ・本会議、委員会はどなたでも傍聴できます。
  - ・傍聴を希望される方は、会議当日に区役所本庁舎5階の議会事務局で受付の上、傍聴券を受け取ってください。
- ※以下の場合、事前に議会事務局までご連絡をお願いします。
- ◆ 児童及び乳幼児が傍聴席に入る場合（別室での音声視聴もご案内できます。）
  - ◆ 手話通訳を希望される場合（日程等の都合により、ご希望に沿えない場合もあります。）

### ＼ヒアリンググループ&字幕表示システムが利用できます（本会議）／

- ・傍聴受付の際、利用希望の旨をお伝えください。
  - ・委員会での利用を希望される場合は、機材準備のため、議会事務局まで事前にご連絡をお願いします。
- ※各貸出台数には限りがあります。





## プレミアム商品券の充実／ 六瑞小閉校問題について

菅谷 元昭  
(自民党)



### 来年度のプレミアム商品券の充実について

**問** 令和8年度のプレミアム商品券事業については、通常の発行額で年2回実施することを要望する。キャッシュレス化を促進するためには、ポイント還元やプレミアム付等との工夫とともに、キャッシュレス決済の手数料が高いことへの対応が必要と考えるが、見解を問う。

**答** 事業の実施回数や発行額の増額等、消費喚起につながる効果的な支援策の実施に向けて検討していく。キャッシュレス化の促進については、他自治体の先進事例等を参考に、手数料負担の課題に向けた国の動向を注視しつつ、商店街連合会と連携しながら、実施可能な対応策を検討していく。

### 学校建て替えに関わる六瑞小閉校問題について

**問** 令和7年7月の委員会で報告があった「学校施設建て替え計画案」には第六瑞光小学校の閉校計画が含まれているが、PTA等への事前説明は無く、反対運動が起こっている。PTA、町会、有識者等を含めた検討委員会を開催し、本件について議論を尽くすことを要望するが、見解を問う。

**答** 計画案については、校長会やPTA連合会等の関係団体への丁寧な説明を実施しており、保護者説明会の開催も予定している。町会等を含めた検討委員会の開催については、保護者説明会の実施後、具体的な時期や実施方法を検討していく。

### その他の質問項目

#### ○公契約条例と区内事業者の育成について



プレミアム商品券事業  
の年2回実施を要望



## 障がい者グループホームの入居家賃補助の拡充等について

竹内 明浩  
(ゆいの会(都民ファースト・  
国民民主・あたらしい党・無所属))



### 障がい者グループホームの入居家賃補助の拡充

**問** 障がい者グループホームの家賃負担の実態を把握するとともに、障がい者の地域生活を支えるには区独自の家賃補助制度の創設や、相談支援、日中活動先との連携、緊急時の対応等を含めた包括的な支援体制が求められるが、区の見解を問う。

**答** 実態を把握する中で、個々のケースに応じた支援を行っている。障がい者の生活を地域で支えるため地域生活支援拠点等を7か所定めるとともに拠点間のコーディネーターを配置してサービス提供体制を構築しており、今後も充実に努める。

### 平和都市宣言30年・戦後80年の節目における 当時の写真、資料の収集について

**問** 平和都市宣言30年、戦後80年を契機に、区

民や関係者から戦争関連資料として当時の写真・手記・生活用品等を広く募集し、デジタルデータ化を行い、保存・活用する取り組みを要望するとともに、図書館等における常設または巡回形式の小規模展示の開催について、区の見解を問う。

**答** 関係部署等と連携しながら引き続き資料収集や保管に取り組むとともに、デジタルアーカイブ化も検討していく。令和7年度は周年事業として、図書館での巡回形式のパネル展示のほか、映画観賞会や子ども向けのおはなし会等を実施しており、今後も平和を希求する取り組みを重ねていく。

### その他の質問項目

#### ○一次避難所の円滑な受付体制の確立について



夏休み子ども平和映画会



## 障がい者福祉サービスの充実／ 外国籍を背景に持つ児童・生徒 への支援体制の確立

山口 幸一郎  
(公明党)



### 障がい者福祉サービスの充実

**問** 障がい者向けのショートステイやトワイライト事業は、実施場所や定員が限定されており、予約が取れない。在宅生活継続のためには、事業の拡充が急務の課題と考えるが、区の見解を問う。

**答** 新たに整備を計画しているグループホームにおいて、短期入所やトワイライト事業など、地域で不足している機能を併せて整備することを検討している。今後も支援の充実に努めていく。

**問** 「ara!kawa認定商品」の対象要件の緩和や専門アドバイザー派遣等により、福祉作業所の商品をブランディング化し、地域経済全体の活性化を図るべきと考えるが、見解を問う。

**答** 福祉施設等で製作された商品を含め、ものづく

りブランド「ara!kawa」の認知度向上と販路拡大に向けて、今後、実行委員会や専門家の意見、他自治体の事例等も参考に検討していく。

### 外国籍を背景に持つ児童・生徒への支援体制の確立

**問** 外国籍の児童生徒が増加する中、夜間中学におけるスキルやノウハウを有効活用するほか、学校内に国際学習支援センターを併設するなど、フォロー体制の拡充が必要と考えるが、見解を問う。

**答** 教員研修の実施や学校間での情報共有等により、指導方法や文化・宗教的背景への理解を深める機会を充実し、教育環境の整備を推進していく。

### その他の質問項目

#### ○公契約条例の制定に向けた審議会の設置



## 子どもの健やかな成長を社会で 支えるために／気候変動への対 処と環境負荷軽減について

北村 綾子  
(共産党)



### 子育てにかかわる多様なニーズに応え子どもの 健やかな成長を社会で支えるために

**問** ファミリー・サポート・センター事業の協力会員確保のための報酬引き上げと、区の支援により利用者の経済的負担を抑えることを要望する。

**答** 更なる状況の把握に努めながら、より利用しやすい事業となるよう環境の整備に努めていく。

**問** 小学校登校時刻前の児童の居場所確保と併せて、朝食の提供を行うことを要望するが、見解を問う。

**答** 児童の居場所確保については調査研究を進めている。朝食提供は現段階で実施する予定は無い。

**問** 他自治体での死亡事故を受け、区内の民間事業者が放課後に児童を預かる状況を把握すること。

**答** 「放課後児童健全育成事業」の届け出のある学

童クラブは現在無く、把握が困難である。

**問** 児童生徒用のタブレット端末のフィルタリングと情報リテラシー教育を区の責任で行うこと。

**答** 引き続きフィルタリング設定等の整備や情報リテラシー教育を推進し、学習環境を整備する。

### 気候変動への対処と環境負荷軽減について

**問** エコ助成事業について、高齢者と障害者へのエアコン助成を増額するなど、事業を拡充すること。

**答** 東京ゼロエミポイント制度と区の助成制度の併用が可能であり、積極的な周知を図っていく。

**問** 気候変動に関する誤情報の発信が問題視されるなか、科学的根拠に基づいた情報発信を行うこと。

**答** 正しい情報を身近なところから発信していく。



荒川区ファミリー・サポート・センターの様子



## 選挙に関して／10月から始まるプラスチック回収について

鬼頭 あきゆき  
(立憲民主党)



### 選挙に関して

**問** 参議院議員選挙における他区での不祥事等を踏まえ、投票用紙の厳正な管理体制、職員のコンプライアンス意識の徹底、業務体制の点検・強化を進めていく必要があると考えるが、見解を問う。

**答** 他区での不正問題について、今後捜査や調査が進み、全容が詳らになった時点で、改めて区の選挙事務についても確認を行い、公正で公平な投票作業が実施できる体制の維持に努めていく。

**問** 港区で開設された「共通投票所」について、導入を検討する考えはあるのか、見解を問う。

**答** 共通投票所の設置は課題もあるため、他自治体の事例を参考に、慎重に調査研究を進めていく。

**問** 他自治体の事例を参考に、利便性の向上と啓発

活動の両輪で投票率の底上げを図ることを求める。

**答** 若者を中心に誰もが投票しやすい環境整備に取り組んできた。引き続き取り組みを強化していく。

### 10月から始まるプラスチック回収について

**問** 区の資源回収では、区民のリサイクルに対する意識の高さを感じていた。町屋地域における試行実施について報告を求めるとともに、他自治体の事例を参考に、都内でリサイクル率が最も高い区を目指してほしいと考えるが、区の見解を問う。

**答** 試行では分別方法等について不安等の声があり、様々な啓発を実施している。資源の集団回収で高い実績を有し、支え合う文化を持つ荒川区において区民の声に耳を傾けながら取り組んでいく。



## 音声・字幕配信を実施中！



音声配信



字幕配信

- ・本会議及び委員会の音声をYouTubeで配信しています。
- ・会議当日にライブ配信を行うほか、**荒川区議会YouTubeチャンネル**から過去の映像や音声視聴できます。  
※区議会ホームページからも視聴可能です。



▲荒川区議会YouTubeチャンネル

- ・本会議は**字幕配信**も実施しています。  
**会議当日、区議会ホームページからご覧いただけます。**
- ・傍聴席で利用される場合は、専用のタブレット端末を貸し出します。利用を希望される方は、傍聴受付の際にお申し出ください。





誰ひとり取り残さない地域社会の実現に向けて／がん検診の有料化と若年層への啓発強化

夏目 亜季  
(自民党)



#### 誰ひとり取り残さない地域社会の実現に向けて

**問** 外国籍住民向けの案内冊子の作成等、多言語による情報整備の強化について、区の見解を問う。

**答** 外国人向けの生活便利帳の配付やSNSの発信等を行っており、更なる多言語化を検討していく。

**問** 販売直後のマンションの転売抑制策として、ルールづくりの検討と国への働きかけを要望する。

**答** 国等の動向を注視し、再開発組合等と協議するとともに、必要に応じて国に働きかけていく。

**問** 不燃化特区制度の継続にあたり、助成のレベルを落とさず、柔軟に対応するよう要望する。

**答** これまでと同条件で継続するよう都と協議しており、柔軟に対応できるよう準備を進めていく。

#### がん検診の有料化と若年層への啓発強化

**問** がん検診の受診率の現状と、有料化により想定される受診率低下について、区の見解を問う。

**答** 受診率は概ね横ばいで推移している。有料化と併せて環境整備や周知により、受診率向上を図る。

**問** 舞鶴市を参考に、若年層の子宮頸がん検診受診率向上のため、発信方法の工夫が必要と考える。

**答** 勧奨通知の工夫等、周知啓発に取り組む。

**問** 利便性向上と有料化を踏まえた「今後のがん検診政策の全体像」について、区の見解を問う。

**答** 科学的根拠に基づいた検診、精度の高い検診、受診率の向上を常に意識しながら取り組んでいく。

#### その他の質問項目

##### ○子どもの野外活動と熱中症対策について



子宮頸がん検診の受診率向上のため  
発信方法の工夫を



システム標準化及びDX化／あらかわ遊園について

大月 健弘

(ゆいの会 (都民ファースト・国民民主・あたらしい党・無所属))



#### システム標準化対応の進捗及び今後のDX化の取り組みについて

**問** 令和7年度末までの、区の業務システムの移行について具体的な報告を求めるとともに、開発の進捗と現場への研修について、区の見解を問う。

**答** 令和7年度中の移行に向けて11システムの準備を進めており、データ移行やテスト作業、操作研修、システム間の連携等にも着手している。

**問** リリース時の連絡体制、障害発生時の対応、ベンダーとの保証について、区の見解を問う。

**答** 庁内の報告体制と開発ベンダーの体制を確保しており、迅速かつ効果的な方法を構築していく。

**問** 現在はシステム標準化対応に工数がかかっているが、DX化の今後の計画について見解を問う。

**答** システム標準化と並行してDXも積極的に推進しており、今後も取り組みを一層加速していく。

#### あらかわ遊園のサステナビリティ（継続性）への対応・進捗について

**問** あらかわ遊園における現在の取り組みと、他の遊園地の情報収集について、区の見解を問う。

**答** VR技術の活用等、様々な取り組みを実施してきた。今後も積極的に情報収集を行っていく。

**問** 収支バランスが難しい状況にある中、中期計画の見直しが必要と考えるが、区の見解を問う。

**答** 適宜見直しを行い、効果的な集客策を実施する。

#### その他の質問項目

##### ○今後のスタートアップ支援の方向性について



システム標準化の進捗及びDX化の今後の計画を問う